

実態把握調査結果 (熊本市)

熊本市 令和7年度実態把握調査結果概要

【調査概要】 対象：小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちのご家庭

調査方法：Web調査

	令和7年度	【参考】令和6年度
実施期間	9月9日～10月19日	8月末～10月31日
調査項目概要	相談者のニーズや相談状況について	生活全般について
回答率	約11% (94名/878名)	約14% (125名/878名)
医療的ケアの有無	医療的ケアあり：54.3% 医療的ケアなし：45.7%	医療的ケアあり：59.0% 医療的ケアなし：40.8%

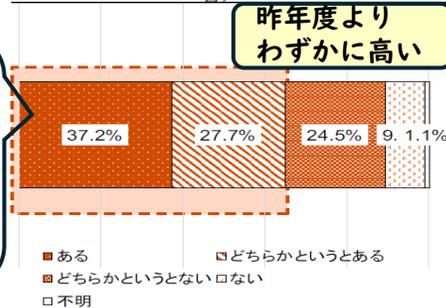
【令和7年度調査結果概要】 ※内容抜粋

①生活における不安や悩みの有無と内容

類似項目
問18、問25

【上位項目】
※P. 9抜粋
成長・発育・
発達：80.3%
病気の悪化：
70.5%

問12. あなたはお子さまの在宅での生活を支えることに不安や悩みを感じていますか。(n=94、単一回答)



④自立のために必要とされる支援

【上位項目】 ※P. 15抜粋

- ・ 疾病の子どもに対する理解の促進：94.7%
- ・ 自治体が発信する情報のわかりやすさ：91.5%
⇒ 医療的ケアの有無に関わらず上位であるが、
医療的ケアありの方が「重要」の回答率高い。

そのほか

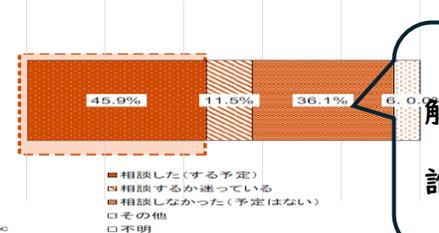
- ・ 同世代との交流
- ・ 学習支援
- ・ 就労支援

いずれも約80%とニーズ高い。

②相談状況と相談先について

類似項目
問20～23、
問27～30

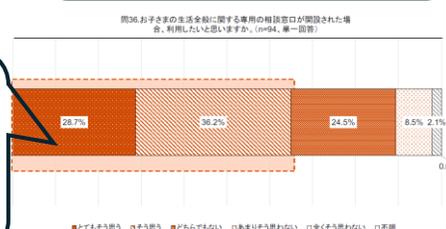
問14. (不安や悩みがある人のうち)不安や悩みについて相談しましたか。(n=81、単一回答)



昨年度と同程度

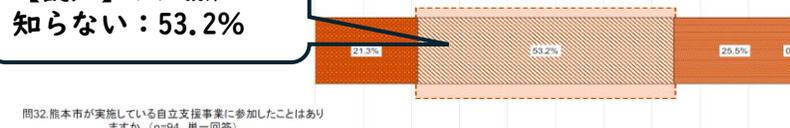
【窓口の利用希望】

- ※P. 19～20抜粋
利用希望：64.9%
・ 将来の生活の見通し
・ 疾患に応じた就業



③自立支援事業の認知・参加

【認知】 ※P. 17抜粋
知らない：53.2%



【参加していない理由】 ※P. 18抜粋
どんな支援があるか 分からない：60.0%
どこで参加できるか 分からない：41.3%



②の一部項目、③の項目については、今年度新たに調査を実施

【令和7年度調査結果よりみえる課題】

- 課題①：約65%が不安や悩みを抱えているが、そのうち約47%の人が相談をできていない
- 課題②：相談窓口へのニーズが高いが、現在小慢に特化した相談先がない
- 課題③：医療費助成を含めた本市の情報の発信方法や広報の工夫が必要
- 課題④：相談支援に限らず、理解促進や相互交流、疾患に応じた就労等の支援が必要